

Myctophidae
ハダカイワシ科



和名・学名 ソトオリイワシ *Neoscopelus macrolepidotus*

地方名：なし

特徴：体は銀白色。体に多数の発光器がある。腹びれより後の体側発光器は1列で、腹部発光器と合わせて2列の発光器が並ぶ。体側発光器は臀びれ起部より後方には達しない。最後の体側発光器は肛門の上方にある。胸びれは大きく、背びれ基底の後端に達する。背びれ、腹びれ、胸びれおよび尾びれはやや赤色を呈する。写真標本は岩手県水産技術センターの漁業指導船「岩手丸」による着底トロール網を用いた調査で、岩手県沖合で採集されたソトオリイワシである。

分布：大陸棚縁辺域に生息する。北海道南部から東シナ海、ハワイ周辺、大オーストラリア湾、大西洋に分布する。

写真：後藤友明（岩手大学農学部三陸研究センター）

文：北川大二（東北区水産研究所）